

科目コード	記号	科 目 名		
2004	G07	倫理 : Ethics		
教 員 名	山下祐志:YAMASHITA Yuji			
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
3MESC	1・90分	必修	講義・後期	履修単位
授 業 概 要	倫理の根本命題は、「見えるものの奥にある見えないもの」についての考察を深めることであり、それを社会生活の中に活かしていくことである。この観点から、古今東西の思想家の思考回路を学習し、現代社会と倫理について考える訓練を行う。			
到 達 目 標		評 価 方 法		
(1) 授業で取り扱う思想家の思考回路の概略が説明できること。 (2) 倫理的なものの考え方ができるようになり、「さよなら高校生、こんにちは大学生」と自信をもって言えるようになること。		評価方法は、①期末試験、②小テスト、③レポートの成績を総合評価する。評価配分は、①60%、②30%、③10%とする。		
(F)		JABEE基準1(1)		
後 期				
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	導入授業	シラバスの説明と、ルネサンス及び宗教改革の倫理的意味について解説する。	
	第2	合理的精神の確立	ベーコン、デカルトの思考回路について学習する。	
	第3	合理的精神の確立	同 上	
	第4	民主社会の倫理	ヘーゲルの思考回路について学習する。	
	第5	民主社会の倫理	同 上	
	第6	予備	時間的な余裕があれば、西欧思想を追加学習する。	
	第7	仏教と日本人の思想形成	仏陀の思考回路について学習する。	
	第8	仏教と日本人の思想形成	鎌倉仏教の思考回路について学習する。	
	第9	仏教と日本人の思想形成	同 上	
	第10	仏教と日本人の思想形成	同 上	
	第11	儒教の日本的展開	江戸時代の儒学者の思考回路について学習する。	
	第12	儒教の日本的展開	同 上	
	第13	儒教の日本的展開	同 上	
	第14	儒教の日本的展開	同 上	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。		
関連科目	世界史, その他の社会科開設科目			
教 科 書	平木幸二郎他『倫理』(東京書籍)			
参 考 書	別途に授業の中で紹介する。			
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。			
副担当教員				
備 考	科目の性格上、試験は記述問題が中心になる。			